

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

柴又街道－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」、「自由通り」、「丸八通り」、「新目白通り」、「ゆりのき橋通り」、「方南通り」と歩いてきました。

今回は「柴又街道」を歩いています。柴又街道は葛飾区金町の水戸街道の金町三丁目交差点を起点に、映画「男はつらいよ」の寅さんの故郷 柴又を通り、江戸川区の都道 450 号線の旧江戸川堤防手前の交差点に至る延長約 10km の道です。写真右上は柴又街道の道路名標識（都道 307 号線）です。前は葛飾区金町の起点から京成本線線路を越えて江戸川区に入るところまで歩きました。

今回は終点の旧江戸川堤防土手手前の交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。

最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

江戸川区に入り、京成本線の京成小岩駅を左側に見て柴又街道を進みます。

[柴又新道口交差点] 江戸川区西小岩五丁目

最寄駅 JR総武本線 小岩駅

柴又新道口交差点（写真下右）で蔵前橋通り（都道 60 号線）と交差します。柴又街道が都道 501 号線の表示がありました。左へ行くと市川橋方面、右へ行くと新小岩方面です。柴又街道は直進します。都道 501 号線の表示があるので、家に帰り調べたら 2022 年（令和 4 年）5 月 10 日に都道 307 号線から変更になったとありました。鹿骨町の地名は奈良時代に春日大社創建で常陸の鹿嶋神宮から分霊した際に、多くの神鹿を 1 年かけて奈良へ連れて行った。その途中で死んだ鹿をこの地に葬ったのが由来と伝えられています。



[東小岩四丁目交差点] 江戸川区東小岩四丁目

最寄駅 JR総武本線 小岩駅



東小岩四丁目交差点（写真上右）で千葉街道（国道 14 号線）と交差します。
左へ行くと市川橋方面、右へ行くと亀戸方面です。

[興農親水緑道] 江戸川区南小岩二丁目・東小岩一丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 篠崎駅

柴又街道を横切る興農親水緑地（写真下左右）は 1950 年（昭和 25 年）農業用水として開削して、江戸川の水を広範囲に使用した農業用水路を親水緑地として整備したものです。整備に当たっては当時の田園風景や小川のせせらぎのイメージを残しています。江戸川区にはこのような親水緑地が各所にあります。



[篠崎公園 A 地区] 江戸川区上篠崎一丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 篠崎駅



左側にある篠崎公園A地区（写真上左右）は1967年（昭和42年）7月開園の都立公園です。緑地の中にスポーツ施設を持ち2地区に別れています。江戸川区の人々は非常に恵まれた施設を持っていますね。

[虹の家西交差点] 江戸川区鹿骨三丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 篠崎駅

虹の家西交差点（写真下右）で鹿骨街道と交差します。



次の交差点（写真下左）で大杉橋通りと交差します。



左へ行くと篠崎方面、右へ行く環七通り方面です。

虹の家は鹿骨街道を左へ行くところある江戸川区在住者を対象とした障害者総合支援法の生活介護事業を行う江戸川区の通所施設です。

[篠崎公園B地区] 江戸川区篠崎町八丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 篠崎駅

写真下左右は飛び地にある篠崎公園B地区です。



[谷河内一丁交差点] 江戸川区谷河内一丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 篠崎駅

篠崎公園が終わる谷河内一丁目交差点（写真下右）で京葉道路（国道 14 号線）と交差します。左へ行くと小松川方面、右へ行くと江戸川を渡り千葉県市川市方面です。上は高速道路小松川線です。信号を待っていたら散歩のご婦人から声をかけられ「柴又街道を歩いています」と言うと「すごい!!」と褒められました。久しぶりに女性に褒められてうれしい寅次郎でした。



[健康の道・水場]



柴又街道の左側にあった写真
左の水場でひと休みです。
左の案内板には左へ行く道は
「健康の道」とのこと。
江戸川区は各所に距離の短い
「健康な道」を設けて「歩いて健康」を奨励しています。

[江戸川一丁交差点] 江戸川区江戸川一丁目

最寄駅 バス利用で都営地下鉄新宿線瑞江駅

江戸川一丁目交差点（写真下右）で篠崎街道と交差します。左へ行くと篠崎方面、右へ行くと今井橋方面です。



[前川神社] 江戸川区江戸川一丁目

最寄駅 バス利用で都営地下鉄新宿線 瑞江駅

柴又街道の右側にある前川神社の脇（写真下左）に出ました。
脇から入り神社の正面から再度入りました。写真下右は正面の鳥居です。



写真左は社殿です。前川神社の創建は不詳ですが、江戸時代初期に第六天として旧前野村の鎮守だったようです。1876年（明治9年）に前川神社と改称されました。

[都道 450 号線との交差点] 江戸川区江戸川一丁目

最寄駅 バス利用で都営地下鉄新宿線 瑞江駅

突き当たると都道 450 号線との交差点（写真下左）で柴又街道の終点です。



写真上左では左側の道が柴又街道で、右側の道が都道 450 号線です。旧江戸川（写真上右）は都道 450 号線の右沿いに流れています。旧江戸川は江戸川大橋で江戸川から分流しています。

これにて柴又街道を起点から終点まで歩きました。寅次郎は起点近くの柴又しか知らない道でした。江戸川区内は柴又街道の名に対しては新しい舗装の道と沿道の新しい建物でしたが、緑と水が豊かな環境の良い街道筋でした。また、柴又街道は都心から茨城・千葉へ向かう水戸街道、蔵前橋通り、千葉街道、旧佐倉街道、京葉道路の幹線と交差する道と知りました。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩 379 令和3年10月から掲載済です。今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年11月16日舞坂宿（現在の静岡県浜松市西区）（江戸日本橋から264km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「舞坂 今切真景」です。かつては浜名湖と海はつながっていませんでしたが、1499年（明応8年）の大地震で湖と海を隔てる陸地が崩れました。これにより舟で渡るようになり「今切の渡し」と呼ばれるようになりました。



松並木を過ぎると舞坂宿、その先が浜名湖です。名物は海の幸ですが、新海苔（写真左）が名物で、うまい物のひとつです。浜名湖は江戸時代後期からの日本最古の海苔養殖場で磯の香が強く、野趣あふれる風味と評判です。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝